

地域を守る古河市消防団

「自分たちのまちは、自分たちで守る」



火災や風水害などが発生したとき、昼夜を問わずいち早く現場に駆けつけ、被害を最小限にするために活動する消防団。

日々の訓練の積み重ねと、「自分の家、自分の生まれ育ったまち、住み慣れた地域を、自分たちで守る」という使命感で、火災や災害から地域の人々を守る活動をしています。

【問】危機管理防災課（総和庁舎） ☎ 92-3111

仕事をもちながらも、地域のために活動

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、日ごろはそれぞれの仕事に就く地域住民が、災害発生時に非常勤特別職の地方公務員として災害に対応する組織です。

消防本部・消防署に勤める消防職員との違いは、消防職員が専門の職業であるのに対し、消防団員は各自の仕事に就きながら、災害時の消防・防災活動や平時の訓練などに従事します。

昨年9月に発生した「関東・東北豪雨」災害でも、住民の避難誘導や土のう積みなどの水防活動を消防署と連携しながら迅速に対応し、地域の被害軽減に努めました。